



発行番号：第16A1055号

発行日：平成28年 7月29日

## 品質性能試験報告書

依頼者 株式会社 カ ナ イ

埼玉県八潮市西袋717-1

試験名称 木造住宅用基礎に使用するアンカーボルト「フィストアンカーボルトM12×350」

の引張試験

標記試験結果は本報告のとおりであることを証明します。

一般財団法人 建材試験センター  
中央試験所長 川上 修  
埼玉県草加市稲荷5丁目2番20号



## 品質性能試験報告書

試験名称	木造住宅用基礎に使用するアンカーボルト「フィストアンカーボルト M12×350」の引張試験							
依頼者	株式会社カナイ							
試験体 (依頼者 提出資料)	試験体 記号	アンカーボルト			木造住宅用基礎		数量	
	C	寸法：全長；350 mm 埋め込み深さ；215 mm ねじ部；M12 軸部；φ10.6 mm			寸法：150 mm×400 mm×3000 mm コンクリート：普通 21 18 20 N (JIS A 5308) 鉄筋：主筋；D13 SD295A (JIS G 3112) ；D10 SD295A (JIS G 3112) せん断補強筋；D10 SD295A		3	
<p>(注) 1. 木造住宅用基礎は、基礎の立ち上がり部分（以下、基礎相当材という）を対象とした。 2. 試験は、基礎相当材のコンクリート圧縮強度が 21 N/mm<sup>2</sup>±10%の範囲内で行うようにした。</p> <p>参 照：図 1（試験体）、表 1（コンクリートの圧縮強度試験結果及び配合）、 表 2（鉄筋の引張試験結果）、図 2（鉄筋の応力-ひずみ曲線）</p>								
試験方法	<p>概 要：基礎相当材上面に埋め込まれたアンカーボルトにカップラー及び加力用棒鋼を取付け、反力台、ジャッキ、球座及びロードセルを介して引張荷重を連続的に加えた。また、ひび割れ等の試験体の破壊状況を目視により確認した。</p> <p>加力装置：センターホール型油圧ジャッキ（揚量；326 kN）及びセンターホール型ロードセル（容量；100 kN，非直線性；0.2 %RO，ヒステリシス；0.2 %RO）</p> <p>測定装置：電気式変位計（容量；50 mm，感度 200×10<sup>-6</sup>/mm，非直線性；0.1 %RO）及びデータロガー</p> <p>参 照：図 3（試験方法）</p>							
試験結果	試験体		基礎相当材 上面及び側面 のひび割れ 発生時		最大荷重時		破壊状況	基礎相当材の コンクリート 圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )
	記号	番号	荷重 P (kN)	変位 δ (mm)	荷重 P (kN)	変位 δ (mm)		
	C	1	34.1	1.2	42.5	4.3	アンカーボルトのねじ部で破断	20.6
		2	32.4	1.1	40.7	4.7	アンカーボルトのねじ部で破断	
		3	28.3	0.8	39.4	3.9	アンカーボルトのねじ部で破断	
平均		31.6	1.0	40.9	4.3	—		
参 照：図 4 及び図 5（荷重-変位曲線），写真 1～写真 3（破壊状況）								
試験期間	平成 28 年 7 月 1 日							
担当者	構造グループ		統括リーダー		室 星 啓 和			
			統括リーダー代理		上 山 耕 平			
					高 橋 慶 太			
					大 西 智 哲 (主担当)			
					数 納 宣 吾			
					佐 山 諒			
試験場所	中 央 試 験 所							